

二 日刊 吉田 時報

東京直通電話開通で
平町民大喜び

東京、平間の直通電話は昨晩の如く二十一日から開通したが、同工事は今春以來架設工事中のもので十八日午前から開通試験の結果良好なので、専用の電話を用ひながら通話をする事になつたものである。從來同區間の通話は戸局中継で、急報でも半日か通報なら十二二時間もかかる事が稀ならず、殆んど列車の倍数であつたが、直通線の架設實現によつてこの待合時間が著しく短縮され、急報なら即刻、普通でも急報と大差なく、平、郡山間位の時間で通話が出来るやうになつたわけである。この結果今日まで電信を以て行はれて居た平方面から東京との商取扱いの他の急要件の交換は電話を利用することになり同區間の電信は減り電話が激増するものと思われるが、如何に通話が激増しても故障が少くなるので一般から非常によろこばれて居る。

納稅表彰
從來の方法改正

平町税務署では國稅納附の成績

優良なる町村並に納稅組合に對し隨時表彰してゐるが、それは表彰の効果も薄く隨つて納稅の好成績を收める上に影響する

その上納稅の実績を精密に調査等に限ることに専用は今回は各個納稅者もその範囲に包含する

ことに決し監督局の許可を得て

実行することになった。

公金預金者

個納稅者もその範囲に包含する

これに決し監督局の許可を得て

小夜ふかく雨のけはいに目
めつゝ君のうつしゑ久しう見
つむ
秋の雨しどづる夜半になき
君のうつしゑの面は淋しく見
ゆる
かそけくもこほろき鳴く夜の
一人居を針を運びつ亡き君を
悼ふ
亡き君の好み給へる糸うりは
今はむなしく供物となりぬ
一人居の淋しきまゝに文よめ
ど心はなつかし君を思へり
君逝きてはやみなぬかは過ぎ
にけりいよゝ淋しくなる心か

秋の夜のふけゆくまゝに亡
友を一入思出で淋しも
君まさぬこの秋こそはことさら
になべてあぢきなさを覺え
て 恵美子

柳町の火事
若松牛乳店焼く
二十二日午前一時半頃平町柳町牛乳搾取業者松武一郎方搾取所から發火したのを附近の者が發見したので長屋二坪程を焼き抜いたのみで消し止めた・平署不發火原因取調べ中である。

▲家畜衛生活映 石城
郡産馬組合では二十七日入遠野二十九日澤渡村各小學校において農林省畜産局後援の家畜衛生講話並に活動寫眞會を開催する

今
曉

賣地 (Land for Sale)

好間村大字上好間字忽滑
間口十一間半奥行八間
九十一坪

一、縣道に沿ひ好間郵便局真西
隣
二、好間尋常高等小學校に近し
三、古河鐵業株式會社好間駅前
前好間軌道停留所隣に位し
古河會社は自下數百萬圓を投
じ新斜坑開鑿中、近く着炭すれば人夫入込多く日々有望地

商店向宅地 (Residential Land for Sale)

内至所ル所取モデズガモウカスマリ

石炭の特賣 (Special Offer for Anthracite)

當店小賣部開設三週年紀念として特賣致升

磐城炭礦 正味十貫目金六十錢

一等塊炭 炭價は日に々向上致しますが今回特に
金六十五錢の品を金六十錢に値下致し升

目方の正確 品質の優良 は當店の特色です

印刷物は加納活版所

平 駒 前 阿 部 石 炭 商 店

電話二二七番 配達は一俵より致し升

液体空氣會社製 (酸素含有量百五十九・九)
(東京工業試驗所長證明)

吸入用酸素、酸素吸入器

正確体温器、寒暖計

磐城平町 約店

電四〇番

牛 豚 肉 廉 賣	
愈々食肉のシーズンは来る 精力と体力の増進を計るは今!!!	
牛 中 肉 百々金二一十五錢	牛 中 肉 同 同
同 上 肉 百々金四十五錢	同 上 肉 同 同
同 口一レス同 同 金六十一錢	同 口一レス同 同 金六十一錢
同 同 豚 中 肉 百々金二十五錢	同 同 豚 中 肉 百々金二十五錢
同 同 豚 上 肉 同 同 金四十五錢	同 同 豚 上 肉 同 同 金四十五錢
同 同 豚 口一レス同 同 金五十一錢	同 同 豚 口一レス同 同 金五十一錢
同 同 豚 平驛前(元平劇場入口) 金六十錢	同 同 豚 平驛前(元平劇場入口) 金六十錢
深谷牛豚肉店	
電話五二四番	電話五二四番
新妻眼科醫院	上田外科醫院
平町字紺屋町	平町南町
X 光線	門 專
電話一二九番	電話一二九番
優秀新藥トリックス	御心配は御無用です
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症	入院應需 ◆看護婦一名至急募集
偉効ある	御試し下さい 定價二圓・三圓・五圓
特約店 平町五丁目角 山野邊藥局	